

合同会社 木かんしゃ

調査団体名	: 合同会社 木かんしゃ	団体代表者名	: 庄司知生
設立年	: 2015年	対応してくれた人の名前	: 庄司知生
団体URL	: http://ki-kansha.jp	調査員	: 浜口美穂 曾我部行子
活動拠点	: 豊田市太田町蟹田6番地	レポート作成者	: 曾我部行子
取材日	: 2017年12月19日(つくラッセルにて)		

活動内容 “松園式燃焼ユニット”の薪ストーブの普及に始まり、地元材を豊富に使った“環木の家”の普及に取り組み始めている。山の資源を最大限に活かす暮らしと、そのための新しい道を模索し続けている。

木・森・すべて全てに感謝しながら仕事をしていきたいと名付けた「木かんしゃ」。社名に引かれて、木への思い入れが深まっていった。足助の築100年の空き家に家族で移住。8つの特長(次頁)を持つ松園式燃焼ユニットという画期的な薪ストーブに出会うことで、住と職とが結びついた。地元にある資源(山の木)を活用する仕事はさらに、地産材を通常の2.5倍使う高機能で手頃な価格のセミオーダー住宅“環木の家”普及へと向かっている。

キャッチフレーズ 地産材を多用し、山村で交流の場を生み、定住を助けない

松園式燃焼ユニットに出会って、常識を覆す薪ストーブから、高性能、高機能な木の家を広める事業へ。

会のモットー(何を大切にしているか)

もっと地元の木を使って、もっと田舎に住んでほしい！

設立から現在に至るまで変化したこと

2011年足助に移住する前は、名古屋でNPOに勤務していた。妻が妊娠したことで、子どもを育てるには、都市でいいのかという疑問が湧いた。三重・岐阜で移住先を探したが見つからず、地域の人と付き合っていこうという思いで豊森なりわい塾と千年持続学校にエントリーした次の日に3.11が起こった。名古屋から通勤しやすい小原地区で空き家を探したが見つからず、妻も働けなくなって、生活が苦しくなったそのとき、足助の奥の集落で今の場所が見つかった。最初は足助から片道3時間かけて通勤していたが、だんだん名古屋に行くことが居心地悪くなっていった。名古屋のNPOの仕事を受託して家で行い、豊根村の移住定住のための計画づくりのお仕事も頂くこととなり、2015年4月に合同会社を立ち上げた。そこから松園式燃焼ユニットと出会って、さらに環木の家へと繋がっている。

連携している団体・専門家・自治体など

- 松園式燃焼式ユニットを開発した松園和正さん、顧問の丹羽健司さん、ユニット製作の原田昭二さん
- 地産材を2.5倍使う“環木の家”を設計する網野禎昭(法政大学)さん その他連携する個人、団体多数

流域圏の担い手づくりに関わる具体的な活動

- 松園式燃焼ユニットの製作は、地元小渡町の原田鉄工所に依頼(地元の企業と連携)
- 地域の活動場所となる旧築羽小学校に薪ストーブを設置し、その場所は「つくラッセル」として今後さまざまな地域発想の集いの展開が予定されている。次回は「つくラッセル」を取材する必要がある。

現在直面している課題

環木の家は、昨年11月に国交省の「サステナブル建築物等先導事業」補助金申請を行ったが採択されず。他の補助金等に再度エントリーする予定。今後、展開していく中で、住宅メーカーのように保険や保障のこともやらなくてはならない。ある程度、この取り組みを理解してくれる人にしっかり説明していくことが必要になってくる。

今後やってみたいこと

- 土地の仲介から建築、そしてアフターメンテナンスまでのトータルコーディネート。
- 木の駅プロジェクトや森林ボランティア、自伐型林業が誰でも無理なくスタートでき、続けて行けるようになるための仕組みづくりや商品開発。

チームオリジナルの質問

<質問内容> “松園式燃焼ユニット”について教えてください。

<答え>

8つの特長

- ① 天井や屋根への穴あけ不要(窓ぬき・壁ぬき)
- ② 設置場所から壁まで距離が長くてもOK
- ③ ストープの移動もできる
- ④ 室内放熱が大きく極暖！(薪の量が抑えられる)
- ⑤ 煙突無いが低温になる(煙突火災のリスクが減る)
- ⑥ 煙突掃除がしやすい
- ⑦ 市販の薪ストーブに取り付けられる
- ⑧ ファンで強制排気(着火しやすい)

<質問内容> “環木の家”とは、どんな住居ですか？

※ 標準価格 一式コミコミ40万～60万円ほど。

<答え>

高性能で高機能なセミオーダー型の小さなお家

- ・ 耐震性が高い(柱・梁+面でも耐える)
- ・ 長寿命(目で見れて修理できる設計)
- ・ 採光・日射遮断効果、通気性が高い(窓位置)
- ・ 断熱・蓄熱・防湿性が高い(厚壁・二重窓・ベタ基礎)
- ・ 太陽熱の給湯、薪ストーブの暖房
- ・ 家族・仲間との楽しい時間と新しい発想を生む交流の場
- ・ 自由な間取り変更(暮らしの変化に対応)
- ・ 木の壁の厚さは12cmで、何も塗らなくても腐食しにくい。

その他、伝えたいこと

国土の67%が森林の日本は、もっと木が使われるようになってほしい。

山村・森林には値段以上の価値がある。
暮らすことにも値段以上の価値がある。

だから、もっと木を使って、
もっと田舎に住んでほしい。

日本の森は今が切りどき！

松園式燃焼ユニット
シングルタイプ



ダブルタイプ





松園式燃焼
ユニット(ダブル
タイプ):つく
ラッセル



ススは引き出
しの中に溜ま
り掃除がラク



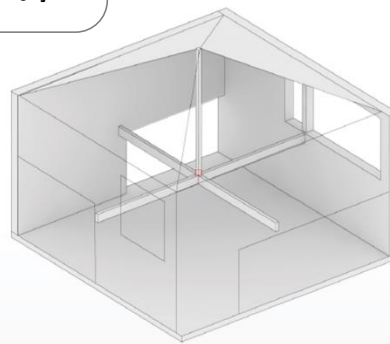
説明する
庄司さん



燃焼ユニット
の外煙突から
の煙



松園式燃焼
ユニット(シン
グルタイプ):
農家民宿ち
んちゃん亭



← 環木の家

